

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)	◎	コンビニ（店舗管理）	・特段、上向きになる要素は思い当たらないが、今月が悪過ぎたので、それと比べれば良くなる。
	○	商店街（代表者）	・これ以上悪くなる材料があるのか分からない。商店街加盟店の関連先の倒産があれば連鎖で悪くなる可能性はあるが、今をしのげば必ず良くなると期待している。
	○	スーパー（店舗管理）	・駐車場の確保が進めば強化販促も打ちやすくなり、集客につながられる。今は積雪により歩道も一部埋まっている状況で、交通手段も回復していないため、安全面の観点からも強化販促が打ちづらい。県指定の排雪場所も確保できていない状態なので、自然に溶けるのを今は待つしかない状態である。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響が多少和らぐとみている。
	○	乗用車販売店（経営者）	・業界全体としてこの時期は、販売量が多くなる時期と捉えているので、徐々に客の動きも良くなると考える。
	○	乗用車販売店（従業員）	・車両販売、整備共に繁忙期であるため、期待している。
	○	乗用車販売店（役員）	・冬も終わり暖かくなってくることや、ワクチン接種が進むことで新型コロナウイルスの感染範囲が縮小していき、人々の消費活動も徐々に回復していくと考える。
	○	住関連専門店（役員）	・新型コロナウイルス感染症次第ではあるが、今月の大雪と外出自粛要請で、様子見の客が多い。先行きがまだ不透明であることは否めないが、3月の需要期には期待したい。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・やや良くなると言っても、雪のため減少した売上が戻るだけで、今までずっと続いていた停滞状態に戻るだけのことである。
	○	一般レストラン（統括）	・良くなるには3つの条件がある。首都圏の感染者数が減ること、新型コロナウイルスの報道が減る、又は明るい報道が変わっていくこと、そしてワクチン接種が始まり、副作用など悪い報道が出ないことである。これらの条件がそろえば、4月頃から消費者が動き始め、景気が上向きになると考える。
	○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、今後G o . T o キャンペーンが再開されれば、例年並みの売上は確保できるとみている。
	○	タクシー運転手	・飲食店への営業時間短縮の要請が、1月末日で終了する。
	○	通信会社（営業担当）	・3月頃より、学生向けの新規受付数が増えてくると見込んでいる。
	○	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が予定どおりに進めば、気持ち明るくなり、消費も増えてくるとみている。
	□	一般小売店〔精肉〕（店長）	・1月は年始の初売りからしばらくはとても悪く、新型コロナウイルスの影響で会食の機会が減っているのだろうという状況である。その後は大雪の関係で多少落としている。新型コロナウイルスの状況が良くなれば、売上が上がってくるとみているが、今後の大雪等への懸念もある。鍋の食材等の動きはあるが、安物買いが多い感じがしている。
	□	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・今後も事務所のオフィスじゅう器関連の整備が進まない。
□	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・新型コロナウイルス禍の影響などを含め、大きくは変わらないだろうとみている。	
□	百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響は継続すると考えるが、我慢も1年を越えて世の中はやや落ち着き、新しいものに目がいくとみている。資産価値となる美術品などは高額でも好調に推移しており、ゴルフやアウトドアなど外で遊ぶ関連の商品や家で過ごす商品は、前年を超えて売れている。この傾向はしばらく継続し、店頭の見せ方や品ぞろえの変更により、減少を抑えることが可能と考える。しかし、各メーカーは商品製造を大幅に減らしており、商品確保がやや困難になる可能性がある。リニューアルや改装オープン、限定商品、限定販売など、新たな起爆剤を導入し、県外へ買物に行く傾向が強い県民が地元志向になれば、来店頻度の増加が期待できる。	
□	スーパー（店長）	・先行きが見通せない以上、状況は変わらない。	

□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの状況が一気に改善することがないと仮定すると、大きな変化はないと考える。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの状況が良くならない。
□	衣料品専門店（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの影響次第で、売上の予想はとてどもできるような状況ではない。
□	衣料品専門店（店舗運営）	・先が見通せない状況であるので、まだしばらくは買物に慎重になる傾向が続くと考えている。
□	家電量販店（本部）	・緊急事態宣言により感染を抑え込まない限り、状況は変わらない。また、新型コロナウイルスのワクチンもまだ先なので、状況は変わらない。
□	自動車備品販売店（役員）	・新車の納車遅れが大きく商売に影響している。また、自動車での遠出を自粛しているのか、メンテナンス関連も落ちている。今は必要最低限の商品購入で出費を抑えており、この先数か月この傾向は変わらないとみている。
□	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染者数の推移、医療体制のひっ迫度合いなど、短期的な先の改善見通しが立たず、依然として消費者の行動抑制が続く限りは、厳しい状況が続くと考える。一方で、消費者の行動変容によって消費内容に変化がみられることから、提供内容や提供方法など、変化に適応したスタイルの構築を急いでいるが、短期間では難しい面があるため、直近2～3か月での改善は難しいとみている。
□	高級レストラン（スタッフ）	・頼みの綱のGo To Eatキャンペーンのプレミアム付食事券が一時販売停止となる。再販売が始まり、緊急事態宣言が解除されない限り、集客の環境が改善することはないと考える。
□	一般レストラン（店長）	・これ以上悪くなりようがない。
□	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス感染症により生活様式が変わりつつある状態では全く先が読めず、四苦八苦する状況が続きそうである。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスにより、厳しさが継続するとみている。
□	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明である。
□	通信会社（職員）	・新型コロナウイルスの先行きがみえないなかで、新たな集客キャンペーンの効果が見込めない。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で来店人数を制限しており、販売数に大きな変化がみられない。
□	通信会社（役員）	・商戦期を迎えて契約数の増加を見込んでいるが、新型コロナウイルスの影響を考えると、前年同期並みの契約数だとみている。
□	パチンコ店（経理）	・状況が変化する大きな要因がない。
□	住宅販売会社（従業員）	・月末に問合せが増え、商談も増えている。新型コロナウイルスも落ち着いてきた感じがするので、春に向けて動き出すのではと期待している。
□	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響による個人の所得減少が収まらないと、改善は難しいと考える。
□	住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大に一定のめどが付かない限り、しばらくは現在の低調が続くものとみている。
▲	百貨店（売場主任）	・2～3月に渡り、アパレルブランドを中心に撤退ラッシュの第2弾が始まる。前回の第1弾の際は、新規ブランド導入やポップアップストアの出店で何とかしのいだが、今回は新規出店に意欲的なブランドは少なく、交渉は苦戦している。空きスペースが発生すれば状況は更に悪化する。
▲	百貨店（販売促進担当）	・衣料品のものづくりに影響が出ており、春物や新作などの投入が不透明である。また、入学や卒業といった式典や行事が不透明で、セレモニーウェアなど関連した商品の動きが鈍化するとみている。
▲	コンビニ（営業）	・新型コロナウイルスの影響に変化がなく、中小企業も含めて景気悪化の影響が今後表面化してくるのではないかと考える。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス禍のため、県外への新生活需要が見込めない。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス禍の影響で、今後の先行き不安による消費の冷え込みを、客の応対から体感している。
▲	旅行代理店（支店長）	・緊急事態宣言発出の対象地が増え、更に景気に影響を及ぼしている。

	▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染拡大は収まる傾向がみえない。Go To Travelキャンペーンが始まらないと観光客が来ず、厳しい状態がしばらく続きそうである。
	▲	競輪場（職員）	・選手の新型コロナウイルス感染者が増えるようなことがあれば、発売できるレースがなくなり、売上が減少すると考える。
	▲	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・新型コロナウイルスの市中感染者が毎日出ているなかで、今まで以上に自粛に向かっていると考える。大雪は2週間たった今も影響が出ている。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・緊急事態宣言や感染拡大警報の発出で、客の動きが鈍くなるとみている。
	×	商店街（代表者）	・Go Toキャンペーンで一旦活気を取り戻したが、中止となった反動が大きい。今後も再開と中止を繰り返すと考えられ、それに慣れてしまって景気が停滞してしまうことが何より怖い。
	×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除されない限り、安心して出歩ける環境ではない。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・今後、景気が回復する気配は全くない。前年の繰り返しかと思うとゾッとする。Go Toキャンペーンも東京オリンピックも無理だとみている。
	×	コンビニ（店長）	・社会の流れが変わるなか、以前のような生活形態に完全に戻るとは、新型コロナウイルスが終息したとしても考えにくい。事業継続のため、人員削減や効率重視の事業縮小も視野に入れて模索している。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・この先3か月の予約保有状況は、10月時点で前年比114%、11月時点で前年比96%、12月時点で前年比85%だったが、1月はGo To Travelキャンペーンの一時停止とその後の緊急事態宣言の影響で、前年比36%と大幅な減少である。緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンが再開しないと非常に厳しい状況となる。
	×	テーマパーク（役員）	・緊急事態宣言が解除されず、Go To Travelキャンペーンの停止が続く限りはほぼ収入が見込めない状況であり、現状より更に厳しくなると考える。
企業 動向 関連  (北陸)	◎	一般機械器具製造業（経理担当）	・国内企業の設備投資が回復基調となっている。さらに、諸外国では一部のロックダウンを除き、経済活動が順調に回復してきており、経済刺激策を講じている国々もその効果が出始めている。そのため輸出増加につながっており、順調に回復しているとみている。
	◎	不動産業（経営者）	・法人関係の間合せは全く動きがない。動きがいつ出るのか見通しが立たないなかではあるが、先行きは良くなるとみている。
	○	精密機械器具製造業（役員）	・今のところ今年前半の生産計画数は、現状キャパシティの100%を超えている状況である。しかし、一方で新型コロナウイルス感染拡大からの悪影響を不安視する面もある。
	○	建設業（経営者）	・年度末をめぐっての工事発注が増えるのではないかとみている。
	○	通信業（営業）	・今後の新型コロナウイルス感染拡大の影響に左右されるものの、現状では北陸は爆発的な感染拡大状況ではない。業種によるが首都圏と比較して影響もやや小さく、このまま推移するとみているが、12月で一旦終了した補助金施策が2月以降予算化し、継続措置となれば、景気は現在以上に良くなると考える。
	○	税理士（所長）	・現在、大きな関心事としては新型コロナウイルスワクチンの問題がある。日本はともかく、中国では感染が抑えられており、欧米でもワクチン接種が進めば、人の交流が一気に動き出すとみている。2～3か月たつと、ビジネス往来がかなり増えるとみられ、いろいろな設備関係も動き出すという期待感がある。まず、ビジネスが観光より先に動き出すのではないかと期待がある。
	□	食料品製造業（経営企画）	・全て新型コロナウイルス次第である。当面は事態が好転するとは考えられず、一進一退の状況が続くだろうとみている。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	・まだまだ予断を許さない状況が続くと考える。本格的な回復にはかなりの時間を要するとみられ、先行きは不透明である。

	□	金属製品製造業（経営者）	・ 2～3か月先の分の注文状況をみて変わらないと考える。
	□	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・ 1月も前年同月と比べマイナスである。9日からの豪雪災害により、1週間程度チラシの納品が間に合わず、キャンセルが生じて売上が損失している。その分が生じなければ、前月と同様の売上水準になっていた。新型コロナウイルス禍前の売上に完全には戻らないとみているが、ここ4か月は前年比12%減少程度で推移しているの で、この辺りまでが復活の上げ止まりかとみている。
	▲	一般機械器具製造業（総務担当）	・ 欧米市場からの受注の行方がみえない状況であり、大変厳しい。今年も引き続き一時帰休を継続している。
	▲	金融業（融資担当）	・ 緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染者数は高止まりしている。不要不急の外出自粛により経済活動が停滞し、持ち直しつつあった消費についても落ち込みが見込まれる。宿泊や飲食は引き続き厳しい状況が続く。
	▲	司法書士	・ プラス要素として北陸新幹線延伸における開発事業があるものの、現状のままでは飲食業者や旅館業者の体力勝負が続くと、同業者を心配する話を聞く。
	×	建設業（役員）	・ 新型コロナウイルス終息の見通しが依然として立たない。先行きの不透明感が大きい。
	×	輸送業（役員）	・ まだ新型コロナウイルスは終息しそうにない。
	×	金融業（融資担当）	・ 緊急事態宣言が続くなか、取引先の売上回復の見通しが再び立たない状況になっている。既に経費削減を進めており、経営努力も限界にきている。
雇用 関連 (北陸)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・ 新型コロナウイルス次第ではあるが、時期的なことを考えれば人の動きが活発になる時期であり、求職者、求人数が増加すると考える。回復を期待する。
	□	人材派遣会社（役員）	・ 今の状態のまましばらく続きそうである。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業）	・ 何事も新型コロナウイルスに左右されている感じがする。感染の波は現状より改善していると考えますが、経済活動が上向きになる要素がない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 新型コロナウイルスのワクチン接種の見通しが曖昧で、当面この不安感や停滞感は継続するのではないかと考える。
	▲	職業安定所（職員）	・ 新型コロナウイルスの終息がみえないことから、前月より求人数の伸びが鈍化している。
	▲	民間職業紹介機関（経営者）	・ 新型コロナウイルス禍が収まらないと、企業の求人や採用は下火である。東京オリンピック開催の行方も雇用に大きく影響を与えそうである。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・ 緊急事態宣言の発出により、求人数の落ち込みを見込む。
	×	—	—